

# 2017年3月期 第1四半期決算概要

2016年7月25日  
メタウォーター株式会社

- I 2017年3月期第1四半期の成果  
および2017年3月期業績予想
- II 2017年3月期第1四半期決算概要

添付資料:2017年3月期経営方針

## <セグメント情報>

### □プラントエンジニアリング事業(略語:PE事業)

当セグメントでは、浄水場内の浄水プロセス、下水処理場内の下水処理プロセス、汚泥処理プロセスに使用する機械設備の設計・調達・建設と、それらを運転するための電気設備の設計・建設を核とした各種エンジニアリングを主たる業務としています。

### □サービスソリューション事業(略語:SS事業)

当セグメントでは、浄水場、下水処理場、ごみ処理施設・リサイクル施設向けの機械設備や電気設備の補修工事、維持管理(保守・点検)、運転管理などの各種サービスを主たる業務としています。

## <略語>

EPC Engineering, Procurement and Construction: 設計・建設

O&M Operation and Maintenance: 運転・維持管理

PPP Public-Private Partnership(官民連携): 公共サービスの提供に民間が参画する手法

PFI Private Finance Initiative: 公共施設の設計・建設、運転・維持管理、資金調達に民間を活用する公共事業の手法

DBO Design, Build and Operate: 公共施設などの設計・建設、運転・維持管理に民間を活用する公共事業の手法

I 2017年3月期第1四半期の成果  
および2017年3月期業績予想

II 2017年3月期第1四半期決算概要

添付資料:2017年3月期経営方針

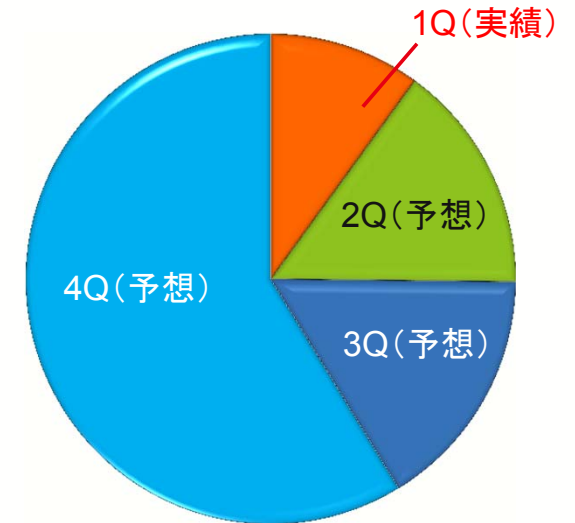
## \* 増収増益

国内のEPC事業、O&M事業、PPP事業が順調に推移したことに加え、AAS\*1社の連結効果により、概ね計画通り増収増益

## \* 受注

四半期バランスの違いにより、前期比で受注高は減少するも、受注残高は増加し、概ね計画通り

'17/3期 四半期別売上構成



(単位: 億円)

|                | 受注高 (受注残高)                  | 売上高           | 営業利益         | 経常利益         | 四半期純利益*2     |
|----------------|-----------------------------|---------------|--------------|--------------|--------------|
| '17/3期1Q<br>実績 | 240 (1,201)<br>前期比▲42 (+57) | 112<br>前期比+36 | -25<br>前期比+7 | -28<br>前期比+3 | -13<br>前期比+8 |
| '16/3期1Q<br>実績 | 282 (1,144)                 | 76            | -31          | -30          | -21          |

\*2 親会社株主に帰属する四半期純利益

\*1 AAS: Aqua-Aerobic Systems, Inc. (2016年1月子会社化)

## EPC

### 受注高3億円以上の工事を4件完了

- \* 東京都水道局 和田堀給水所外4か所監視制御設備等改良工事
- \* 京都市上下水道局(京都府) 新山科浄水場中央監視制御設備更新工事
- \* 東京都水道局 砧浄水場非常用自家発電設備取替工事
- \* 大阪府淀川右岸流域下水道高槻水未来センター焼却炉設備更新工事

### 10億円以上の工事を1件受注

- \* 東京都下水道局 森ヶ崎水再生センター(西)高速ろ過設備工事(本日発表)

### <参考>

- \* 東京都下水道局 南部汚泥処理プラント脱水焼却電気設備再構築工事  
(2016年7月受注・本日発表)

## 海外

- \* 米国 Aqua-Aerobic Systems, Inc. (AAS) 等の損益計算書を連結
- \* AAS社への北米事業移管(2016年5月~)

## O&M

### 長期・包括案件2件、新規1件 計3件で業務開始

- \* 川崎市(神奈川県)加瀬水処理センター・処理区ポンプ場点検業務(長期契約)
- \* 宇都宮市(栃木県)清原水処理センターほか2か所包括的維持管理業務(包括委託)
- \* 国土交通省 下水道全国データベース運用開始(2016年7月20日発表)

## PPP

### 新規案件2件で業務開始

- \* 荒尾市(熊本県)荒尾市水道事業等包括委託
- \* 北九州市(福岡県)株式会社北九州ウォーターサービス  
(北九州市54%、メタウォーター19%ほかの出資による第三セクター)

# '17/3期業績・配当予想

17/3期第1四半期は受注高、売上高・利益とも概ね計画通りに推移しており、通期業績予想に変更なし

## \* 受注高

長期ビジョンの実現に向けて、大型案件に注力し、過去最高を目指す

## \* 売上高・利益

北米事業改革の効果などにより、増収増益を予想

## \* 配当

安定配当を継続

(億円)

|              | 受注高                          | 売上高                        | 営業利益                    | 経常利益                     | 当期純利益*                   | 年間配当(円) |
|--------------|------------------------------|----------------------------|-------------------------|--------------------------|--------------------------|---------|
| '17/3期<br>予想 | 1,260<br>前期比: +135<br>+12.0% | 1,120<br>前期比: +89<br>+8.6% | 62<br>前期比: +8<br>+14.8% | 61<br>前期比: +10<br>+18.6% | 40<br>前期比: +12<br>+44.0% | 58      |
| '16/3期<br>実績 | 1,125                        | 1,031                      | 54                      | 51                       | 28                       | 58      |



I 2017年3月期第1四半期の成果  
および2017年3月期業績予想

II 2017年3月期第1四半期決算概要

添付資料:2017年3月期経営方針

## Ⅱ 2017年3月期第1四半期決算概要

- 1 連結損益計算書
- 2 セグメント情報
- 3 連結貸借対照表
- 4 連結キャッシュ・フローの状況

# 連結損益計算書('17/3期1Qの業績)

(単位: 億円)

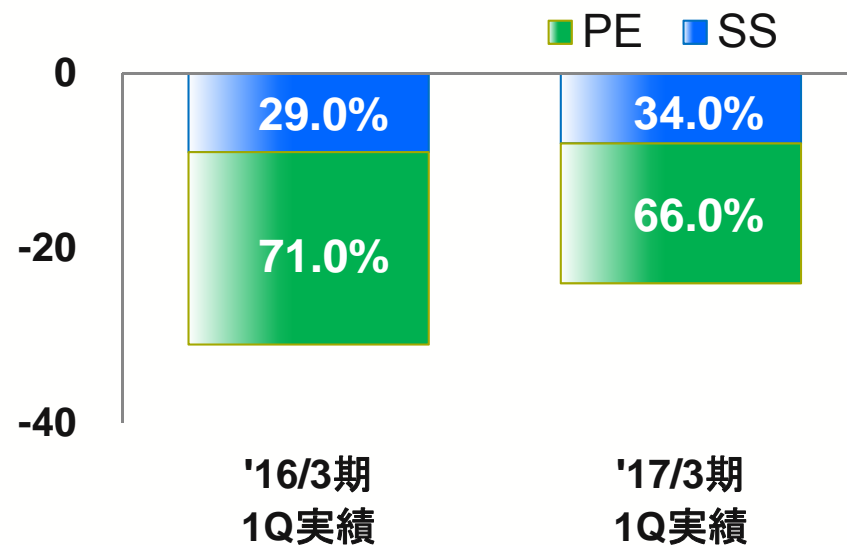
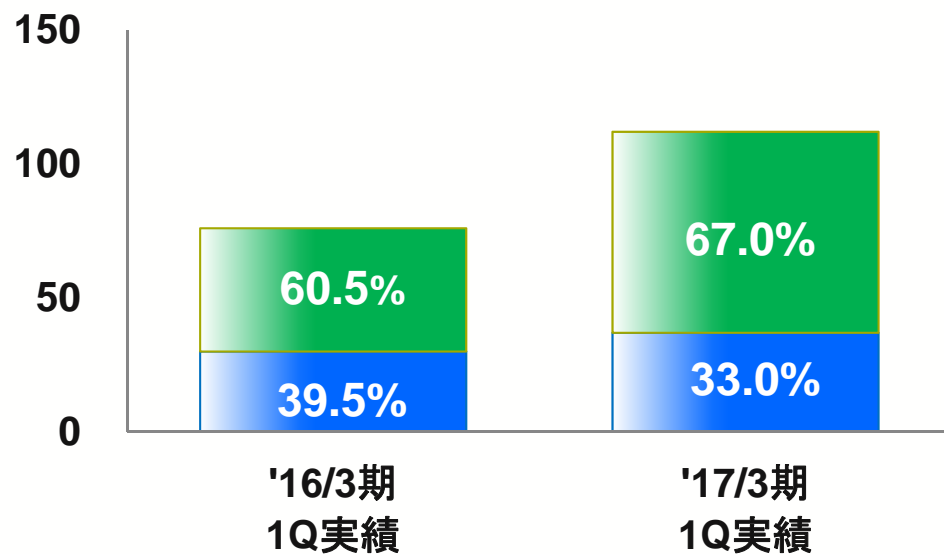
|                           | '16/3期<br>1Q実績 | '17/3期<br>1Q実績 | 増 減 |
|---------------------------|----------------|----------------|-----|
| 売 上 高                     | 76             | 112            | +36 |
| 営 業 利 益                   | -31            | -25            | +7  |
| ( 営 業 利 益 率 )             | -40.9%         | -22.0%         |     |
| 経 常 利 益                   | -30            | -28            | +3  |
| 親会社株主に帰属する<br>四 半 期 純 利 益 | -21            | -13            | +8  |

\* 10百万円単位を四捨五入

(単位: 億円)

|    | 売上高            |                |     |
|----|----------------|----------------|-----|
|    | '16/3期<br>1Q実績 | '17/3期<br>1Q実績 | 増 減 |
| PE | 46             | 75             | +29 |
| SS | 30             | 37             | +7  |
| 合計 | 76             | 112            | +36 |

|    | 営業利益           |                |     |
|----|----------------|----------------|-----|
|    | '16/3期<br>1Q実績 | '17/3期<br>1Q実績 | 増 減 |
| PE | -22            | -16            | +5  |
| SS | -9             | -8             | +1  |
| 合計 | -31            | -25            | +7  |



# 連結貸借対照表

(単位:億円)

|              | '16/3期<br>期末実績 | '17/3期<br>1Q実績 | 増 減         |
|--------------|----------------|----------------|-------------|
| 現金・預金        | 209            | 397            | +187        |
| 売上債権         | 708            | 365            | ▲343        |
| 棚卸資産         | 66             | 96             | +30         |
| その他          | 45             | 35             | ▲9          |
| <b>流動資産計</b> | <b>1,028</b>   | <b>893</b>     | <b>▲135</b> |
| 有形固定資産       | 26             | 25             | ▲1          |
| のれん          | 83             | 76             | ▲7          |
| 無形固定資産他      | 19             | 18             | ▲1          |
| その他          | 52             | 57             | +4          |
| <b>固定資産計</b> | <b>181</b>     | <b>176</b>     | <b>▲5</b>   |
| <b>総資産計</b>  | <b>1,209</b>   | <b>1,069</b>   | <b>▲140</b> |

|                     | '16/3期<br>期末実績 | '17/3期<br>1Q実績 | 増 減         |
|---------------------|----------------|----------------|-------------|
| 買入債務                | 359            | 237            | ▲122        |
| 前受金                 | 58             | 121            | +63         |
| 短期借入金 <sup>*1</sup> | (8)12          | (8)11          | ▲1          |
| その他                 | 80             | 26             | ▲54         |
| <b>流動負債計</b>        | <b>509</b>     | <b>395</b>     | <b>▲114</b> |
| 長期借入金 <sup>*2</sup> | (134)160       | (128)154       | ▲6          |
| その他                 | 59             | 59             | —           |
| <b>固定負債計</b>        | <b>218</b>     | <b>213</b>     | <b>▲5</b>   |
| <b>負債計</b>          | <b>727</b>     | <b>608</b>     | <b>▲119</b> |
| <b>純資産計</b>         | <b>482</b>     | <b>461</b>     | <b>▲21</b>  |
| <b>負債・純資産合計</b>     | <b>1,209</b>   | <b>1,069</b>   | <b>▲140</b> |

\*1 \*2 : カッコ内の数値はPFI等プロジェクトファイナンス・ローンの金額

# 連結キャッシュ・フローの状況

(単位: 億円)

|                     | '16/3期<br>1Q実績 | '17/3期<br>1Q実績 | 増 減  |
|---------------------|----------------|----------------|------|
| 現金・現金同等物の前期残高       | 296            | 200            | ▲96  |
| 営業キャッシュ・フロー         | 246            | 200            | ▲46  |
| 投資キャッシュ・フロー         | -1             | -1             | —    |
| フリー・キャッシュ・フロー       | 245            | 199            | ▲46  |
| 財務キャッシュ・フロー         | -8             | -12            | ▲4   |
| 現金・現金同等物に係る<br>換算差額 | 0              | 0              | —    |
| 現金・現金同等物の期末残高       | 533            | 387            | ▲146 |

- I 2017年3月期第1四半期の成果  
および2017年3月期業績予想
- II 2017年3月期第1四半期決算概要

**添付資料:2017年3月期経営方針**

## 変化を先取りし、成長し続ける企業を目指す

- \* “お客様・現場”第一主義の徹底
- \* 7つの経営視点による企業力の強化
- \* 4事業体制による責任と権限の明確化、意思決定の迅速化



# 7つの経営視点による企業力の強化

## サステナビリティ(持続性)を核とした事業活動とCSR\*活動



# (1) サステナビリティ

## 官民連携によるBCP\*、技術・ノウハウ伝承



応急給水活動



BCP訓練



技術継承

## (2) エネルギー

### 省エネ、創エネ、自然エネルギー活用



太陽光発電



下水資源を活用した発電

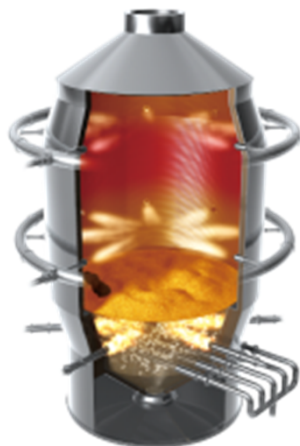


下水汚泥の燃料化

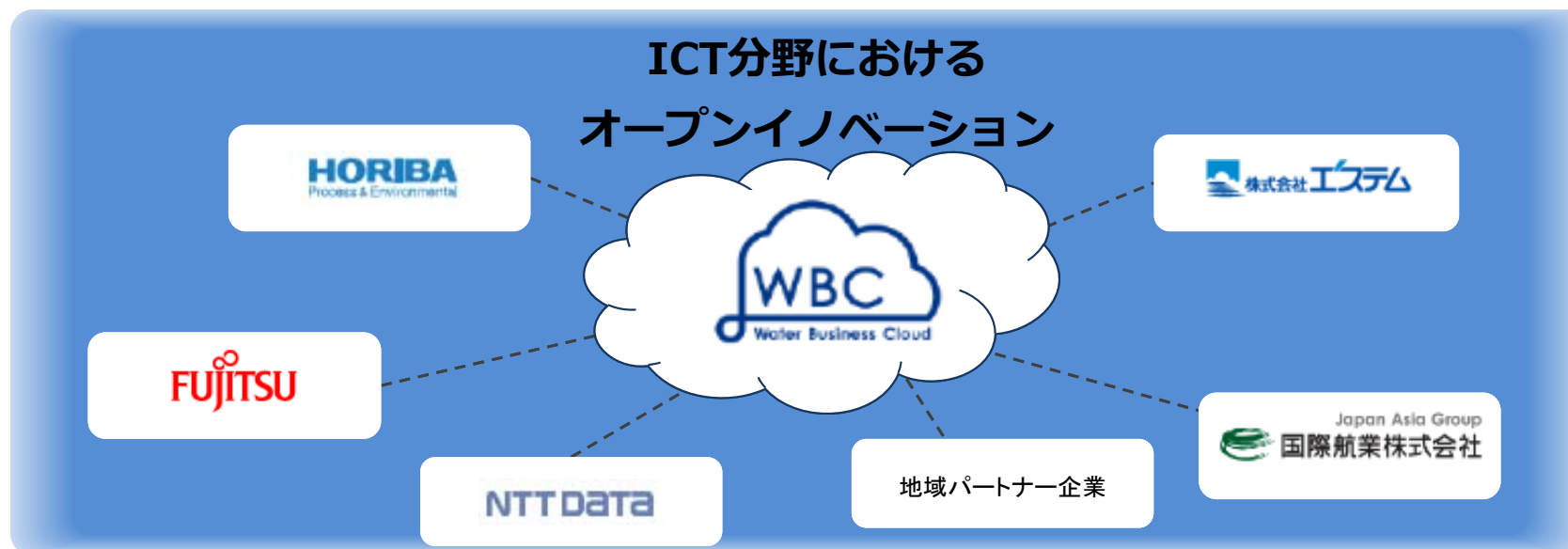
# (3) 最先端技術

## 機電融合、ICT、オープンイノベーション

機電融合による最適技術・プラント

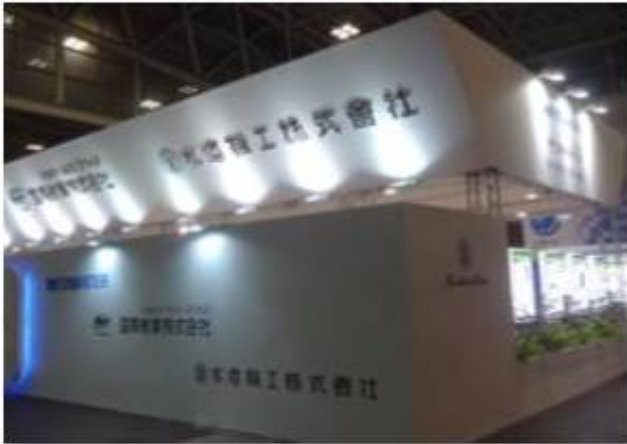


ICTを活用した維持管理



# (4) パートナーシップ

## 自治体・パートナー企業・地域企業との連携



水道機工(株)、国際航業(株)  
との三社連携



(株)北九州ウォーターサービスの  
業務開始



# (5) 地球環境

## 水循環、水源林保全、資源リサイクル



水循環



リン回収



水源林保全

# (6) 社会貢献

## 啓発活動、国際支援、災害支援



啓発活動



国際支援



災害支援



# (7) 品質・安全

## 独自の品質・安全衛生基準



安全点検



安全装備の指差確認



配電盤調整作業



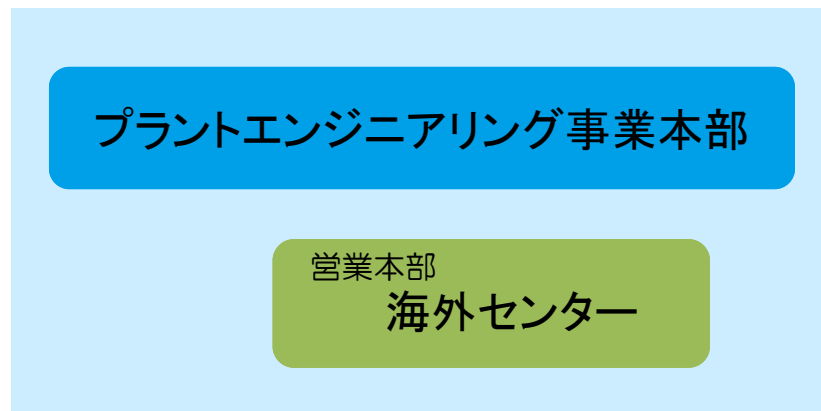
ISO 9001・ISO 14001 承認



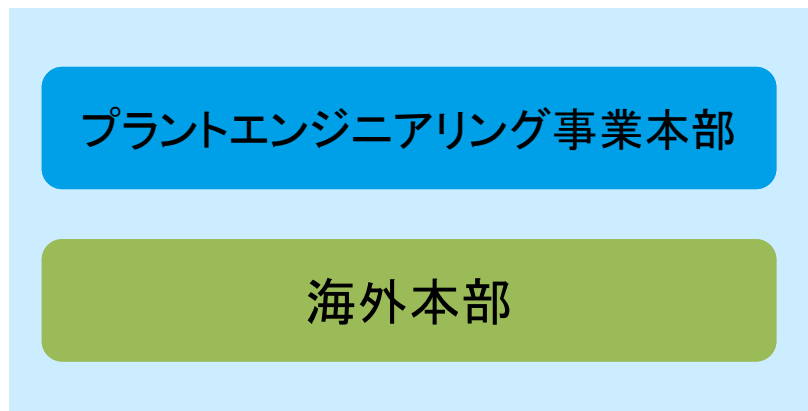
# 4事業本部体制 -責任と権限の明確化、意思決定の迅速化-

4月1日付で2事業本部から、4事業本部体制へ

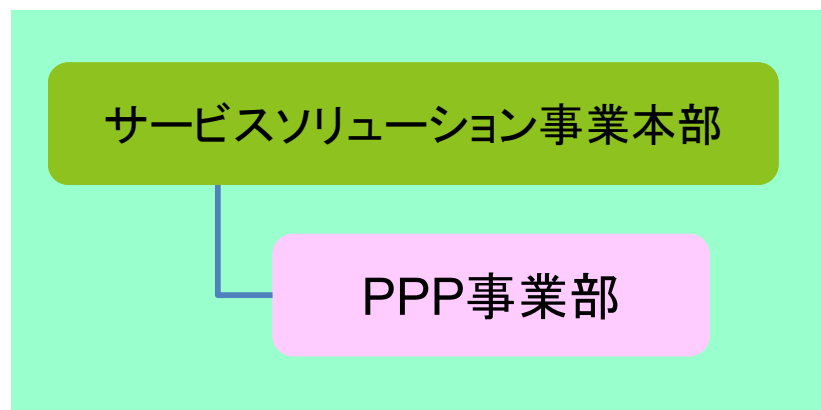
## プラントエンジニアリング事業セグメント



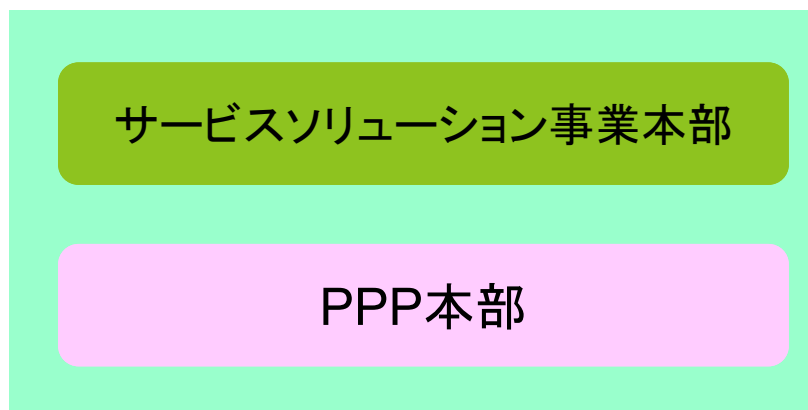
## プラントエンジニアリング事業セグメント



## サービスソリューション事業セグメント



## サービスソリューション事業セグメント



## ディスクロージャーポリシー

### 1. 基本方針

当社グループは、企業理念に基づき、社会とともに持続的な発展を遂げるため、すべてのステークホルダーの皆様への期待にお応えし、社会から信頼され、社会に貢献し続ける企業グループを目指します。この考え方に則り、当社グループは、ステークホルダーの皆様や社会に対して当社グループに係る企業情報を公正・公平かつ適時・適切に開示するとともに、ステークホルダーの皆様と積極的にコミュニケーションをはかることにより、当社グループに対する理解促進をはかり、透明性・信頼性の高い経営に努めます。

### 2. 情報開示の基準

会社法、金融商品取引法等の諸法令および金融商品取引所が定める規則等により開示が求められる企業情報について、それぞれの法令や規則等に則り、情報開示を行います。また、法令や規則等に該当しない企業情報であっても、ステークホルダーの皆様にとって有用であると判断される情報や社会的に開示が必要と判断される情報について、可能な限り積極的に情報開示を行います。

### 3. 情報開示の方法

上記の法令や規則等により開示が求められる企業情報については、それぞれの法令や規則等で定められた方法により情報開示を行うとともに、当社ホームページに掲載します。上記の法令や規則等に該当しない企業情報については、その重要性や緊急性を考慮し、報道機関や当社ホームページ等を通じて情報開示を行います。

### 4. 情報開示後のコミュニケーション

開示した情報に関して、会見、説明会、取材、問い合わせへの回答等を通じ、ステークホルダーの皆様と積極的にコミュニケーションをはかります。また、コミュニケーションを通じてステークホルダーの皆様からいただいたご意見等は、当社グループ内で共有し、今後の参考とさせていただきます。

### 5. 沈黙期間

決算情報の漏洩を防ぎ、公平性を確保するため、決算（四半期決算を含む）期末日の翌日から決算発表までを沈黙期間とします。沈黙期間中は、業績予想の修正に関する情報開示を行った場合を除き、決算・業績見通しに関する会見、説明会、取材、問い合わせへの回答等は差し控えます。

### 6. 将来の見通しについて

当社グループが開示する業績予想、戦略、目標等のうち将来の見通しに関する記述は、当社グループがその時点で入手している情報および合理的であると判断される一定の前提を根拠としており、実際の業績等は様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

### 7. 社内体制の整備

ディスクロージャーポリシーを遵守し、適切な情報開示およびステークホルダーの皆様とのコミュニケーションがはかれるよう、社内体制を構築するとともに社内規程を整備します。



【本資料に関するお問い合わせ先】

メタウォーター株式会社 CSR推進室 広報IR部

Tel: 03-6853-7317 Fax: 03-6853-8709 E-mail: pr@metawater.co.jp